

## つぎナビ ② つづきの桜 - 2

2023/4/5 Maekawa

催行日：2023年4月5日(水) 9:30 仲町台駅 改札口を出た所  
 ・中川駅 9:16～9:23 仲町台駅

行程：仲町台駅～長福寺～淡島神社～江川せせらぎ緑道～鶴見川沿い（鴨池人道橋で解散）（5km）

\* C班で「江川せせらぎ緑道」に直行の方は 600 系統(仲町台循環 10:00-10:22 1本/時間)で折本町下車。  
 (但し 600 系統は定員 12 名のマイクロバスです、300 系統 新横浜行は 2023 年 1 月に実質廃止)  
 又は 仲町台駅 9:50～9:53 新羽駅 (バス 041 系統 川向町折返場行) 10:03～10:11 折本町バス停



- 1) 仲町台駅 B28 市営地下鉄ブルーライン の新横浜-あざみ野の延伸に伴い 1993 年開業
- 2) 長福寺 曹洞宗 (1587 年開山、1997 年に墓地再開発に伴い本堂も改築) 墓地には大きな観音像
- 3) 淡島神社 見ごたえのある桜、道路沿いには早咲きの桜も
- 4) 江川せせらぎ緑道 桜とチューリップ (写真映する場所です)
- 5) 鶴見川沿い (江川が暗渠になる所で左手で堤防に～ララポート付近まで) 鴨池人道橋で解散

帰路 市バス 28 (新羽駅行) ららぽーと 12:14～12:30 新羽駅 (1 本/時間) 中山行もあり  
 市バス 124 (センタ南行) ららぽーと西 12:05～12:31 センタ南 (2 本/時間)

「江川せせらぎ緑道」のみで帰る方

市バス 41 (新横・鶴見行) 折本町(緑産業道路) 12:04～12:15 新羽駅 (3 本/時間) + 28 系統も通ります

- 1) 仲町台駅から線路沿い東方向に200mで仲町台地区センタ、サカタの種の裏側になります。地下鉄陸橋の手前で右手に行くくと「将門歩道橋 昭和59年」で、幹線道路(新横浜元石川線)を超えます。真っすぐ進むと、墓地に突き当たります。右手の階段を上ると 福寿園墓地の裏手になります。大きな白い観音像が目立ちます。
  - 2) 長福寺(曹洞宗 久松山) 本堂を拝観後、大通り(新横浜元石川線)に出ます。切通しの東側上にあるマンションは「ヴェレーナ港北」346戸10階2008年、見晴らしが良さそう。長福寺東交差点を渡り、折本小学校に向かう通学路(畑の中)、見事なしだれ桜がみえます。大熊川を渡り、折本小学校から折本農業専用地域の畑の中の道を淡島神社の裏手に進みます。
  - 3) 淡島神社裏側から、階段道又は急坂を下りて境内に入ります。残念ながら2、3年前に桜の大木は伐採されてしまって、境内の桜は今一つになってしまいました。(周囲の桜はあります)(江戸時代から女人信仰の神社として有名です、ひな祭りやどんど焼きなど季節の行事があり)左先にはヤナセが見えます。又右手のIKEA港北(平日は11時開店)ですので奥のコーナンでトイレ休憩とします。折本町交差点で緑産業道路を渡ると、先が江川せせらぎ緑道です。
  - 4) 江川せせらぎ緑道 約1kmの桜並木、運が良ければ、桜とチューリップの競演が見れます。江川せせらぎ緑道を西方向に、高速道路(K7)の下に新しい公園「東方第2公園」があります。梅田橋交差点の手前、ガリガリボの角を左手に進むと 鶴見川 の堤防が見えます。(尚、東方町バス停から、28,41系統での新羽駅経由で帰宅できます。10分間隔であり)  
\* IKEAの前の新開橋バス停(仲町台巡回は1本/時しかないです12:24)
  - 5) 鶴見川の左岸堤防、西へ500mで鴨池人道橋です。(対岸の右岸に桜並木が見えます)(シドモア桜もあります)、運がよければ上流方向には富士山も見えます。鴨池人道橋で、解散です。
- ・鴨池人道橋を渡ってJR鴨居駅(JR横濱線で 新横浜 又は 中山)。
  - ・ララポートにて買い物・食事、市バス28で新羽駅経由、市バス124センタ南経由で帰宅



長福寺 曹洞宗



大熊川と折本小学校



新横兵元石川線 淡島陸橋から



縁結びや厄除けの女神の淡島神社、  
桜の大木は1昨年に伐採されてしまいまし  
た

IKEA 港北:2006 年から  
1958 年須創業 ㊦デソ



江川せせらぎ緑道

鶴見川 池辺町から上流の眺め



鴨池人道橋 1991年



(つづきの桜—2 資料)

**長福寺** 曹洞宗久松山長福寺、本尊は釈迦牟尼仏。開山は天正3年5月(1575)。長福寺の成立は、境内にある熊野社の別当寺としてであった。現在は一大墓地をお守りする慈悲に満ちた聖観音菩薩「福寿観音」と、境内を彩る四季の花々で有名な寺院である。



**熊野社** 新編武蔵風土記稿によると、平将門が7日間参籠し願を懸け金色の観音様を授かった後、勢力を拡大していったとの伝説がある。江戸時代までは独立した神社で、長福寺が経営管理を任されていた。明治42年(1909)に大熊杉山神社に合祀された後も、ご神体は長福寺本堂で熊野権現として祀られ続けたが、現在は平成8年に新築された社に遷され安置されている。

**折本小学校** 折本小学校は現在折本町1321にあるが、明治6年(1873)に同校の前身となる折本学舎ができ、真照寺を教場としていた。大正5年(1916)には都田小学校の第2分教場として折本町1478に置かれた。その後、昭和25年(1950)に都田小学校より分離独立して折本小学校として発足し、昭和50年(1975)に現在の地に新校舎が建設された。(校舎移転の跡地は西原公園として近隣の住民の憩いの場となっている。)



**淡島神社** 創立の時期ははっきりしないが、明暦の頃(1655~1658)に、今の場所に祠があり近隣の人たちが、お参りにいったという。江戸末期から明治にかけて女人信仰の神として崇敬され、3月3日の大祭には品川の芸者衆が、列をなして参拝し賑わったという。

**江川せせらぎ緑道** 東方町と川向町の境を流れる江川は、周辺の都市化が急激に進んだ結果、農業用水の役目を終え荒廃した。平成8年(1996)、都筑水再生センター(佐江戸)の高度処理水が流れるようになると、鮎や鯉などが泳ぐ水路となった。現在は地域の活動により、桜やチューリップなどが咲く、都筑の花の名所になっている。

